本製品をWindows XPでご利用いただくために

本製品は、お客様のかわりにWindows 7 Professionalモデルのライセンス条項に付帯するダウングレード権を行使して、Windows XP Professionalをインストールしています。
本製品の電源をONにすると、Windows XPのセットアップが開始されますので、本冊子をお読みになり、Windows XPのセットアップを完了させてからご使用ください。

・ダウングレード権によりインストールしているOSはWindows XP Professionalですが、お客様がライセンスを取得しているOSはWindows 7 Professionalです。
そのため、本製品にはWindows 7関連の付属物のみ同梱しています。
・Windows 7 Professionalをご利用になる場合は、付属のダウングレードキットに同梱のWindows 7 Professional用ディスク(3枚)を使用して、リカバリーをおこなってください。リカバリーの方法は、付属のダウングレードキットに同梱の手順書をご覧ください。

Windows XPのセットアップについて

本冊子では、本機の電源をはじめてONにしたときに必要となる、Windows XPの設定方法を説明します。

セットアップの準備をする

Windows XPのセットアップ中は、画面の切り替えに少し時間がかかることがあります。「しばらくお待ちください」といったメッセージが表示されたり、マウスカーソル(マウスポインタ)が待機中を知らせる形(⌛)になっているときは、キーボードのキーやマウスのボタンを何度も押さないでください。

・操作の途中で電源を切らない!
Windowsのセットアップには、少し時間がかかります。Windowsのセットアップ中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。セットアップが終わる前に電源をOFFにすると、故障の原因となります。

・分からないことがあったら・・・
セットアップの途中で分からないことがあれば、ヘルプで調べることができます。?をクリックするか、F1キーを押すとヘルプを参照できます。

本機の電源スイッチをONにします。

本機の電源をONにしてから、しばらくの間は、画面の表示がいろいろ変化します。手順2の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

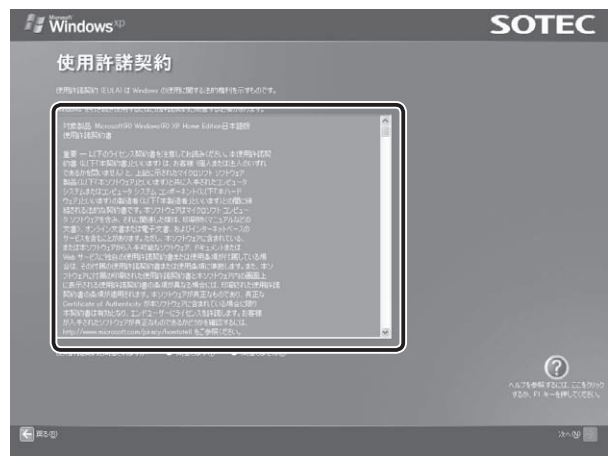
電源がONの状態で無理やり電源ケーブルをねじ込もうとすると、短時間で通電と電源断が繰り返され、保護回路が作動します。保護回路が一度作動すると、電源をONできません。この場合、電源ケーブルを一度取り外し、30秒ほど時間をおいてから、再度差し込んでください。

2 [次へ]ボタンにマウスカーソルの矢印を合わせて、左クリックします。

マウスの使い方については「マウスを使ってみよう」(☞付属のユーザーズガイド参照)をご覧ください。

使用許諾契約に同意する

使用許諾契約に同意します。
同意を拒否すると、Windows XPのセットアップが中止されます。

使用許諾契約を確認します。

2 同意したら、[同意します] の◯を左クリックして、◉に変えます。

3 [次へ] ボタンを左クリックします。

自動更新を設定する

Windows XPのセキュリティー、重要な更新、ServicePack等を自動的に更新するように設定します。

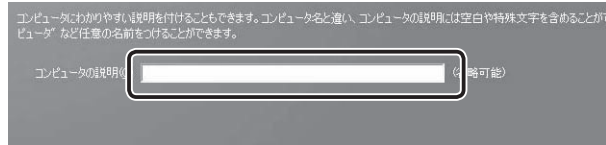
1 「自動更新を有効にしコンピュータの保護に役立てます」の◯を左クリックして、◉に変えます。

2 [次へ] ボタンをクリックします。

本機を設定する

コンピュータに名前をつけます。例として、「ONKYO-PC」と入力します。

1 キーボードから、O N K Y O − P C の順にキーを押します。

2 任意でコンピュータの説明を入力します。

コンピュータの説明は、入力を省略してもかまいません。

3 [次へ] ボタンを左クリックします。

XP Proモデルの方は・・・・・・・ **4** へ進む
XP Homeモデルの方は ・・・・・ **9** へ進む

4 「管理者パスワード」の欄に、任意のパスワードを入力します。

5 「パスワードの確認入力」の欄に、「管理者パスワード」と同じパスワードを入力します。

6 [次へ] ボタンを左クリックします。

管理者パスワードとは
「管理者パスワード」とは、本機の設定を管理する人のためのパスワードです。ここで設定したパスワードは絶対忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまうとWindows XPの再セットアップが必要になります。

7 「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」にチェックを入れます。

ドメインの登録
本機をクライアントサーバ型のネットワークに接続するには、ドメインの登録が必要です。ただし、ドメインの登録はセットアップ終了後に設定できますので、セットアップ中に設定する必要はありません。ドメインの登録に関する詳細は、市販のネットワークの専門書籍を参照してください。なお、ご家庭などで通常に使用する場合は、ドメインの登録は必要ありません。

8 ［次へ］ボタンを左クリックします。

9 ［省略］ボタンを左クリックします。

インターネットへの接続は、セットアップ終了後に設定することをお勧めします。

10 「いいえ、今回はユーザー登録しません」にチェックを入れます。

11 ［次へ］ボタンを左クリックします。

オンライン登録は、セットアップ終了後におこなうことをお勧めします。本書では、オンライン登録に必要な、インターネットの設定方法を説明していません。下の画面が表示されてしまった場合は、［戻る］ボタンを左クリックして前の画面に戻ってください。

ユーザーを登録する

本機を使用するユーザーのユーザー名(ユーザーアカウント)を入力します。

1 必要なユーザー数だけ、任意のユーザー名を入力します。

・ユーザーは最低1つ以上登録してください。
・複数のユーザーを登録する場合、ユーザー名が同じにならないようにしてください。

セットアップ終了後でも、「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」からユーザーを登録できます。

2 ［次へ］ボタンを左クリックします。

セットアップを完了する

いよいよセットアップの完了です。

［完了］ボタンを左クリックします。

［スタート］ボタンを選択して表示される「本製品をご購入のお客様へ」を必ずお読みください。この中には、本機を使用される上で重要な情報が記述されています。
特に、Windowsを再セットアップする場合は、「本製品をご購入のお客様へ」に書かれているとおりにドライバソフトなどをインストールしてください。本機の性能を充分に発揮できないばかりか、一部の機能が動作しなくなる場合があります。

しばらくすると、Windows XPのデスクトップ画面が表示されます。

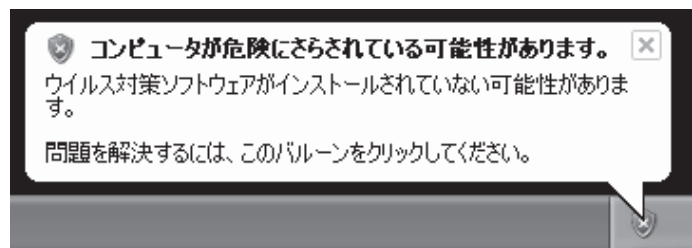
※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

2 Windowsが起動したら、本機を一度再起動してからご使用ください。

画面右下のメッセージについて

Windows XPのインストール後、画面右下に次のようなメッセージが表示される場合があります。

■「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」

この表示がでた場合、パソコンにウイルス対策ソフトがインストールされていないか、ウイルス対策ソフトが最新の状態でない可能性があることをお知らせするものです。ウイルス対策ソフトをインストールすることをおすすめします。

・ウイルス対策ソフトのインストール後は、アップデート機能を使用して、最新の状態を維持してください。
・ウイルス対策ソフトが最新の状態を維持していない場合、メッセージが再度表示されます。

■「Windows XPのツアーを始める」

この表示は、Windows XPの新機能を紹介するものですが、パソコンの操作に慣れてから見ることをおすすめします。

この表示はしばらくすると自動的に消えます。

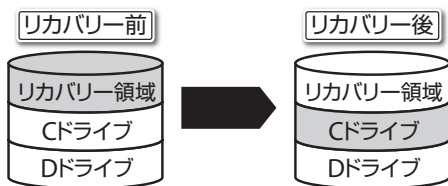
ハードディスクからリカバリーを実行する

リカバリーを実行すると、工場出荷時の状態に戻ります。
（別途アプリケーションソフトのインストールを必要とする場合があります。）

ここでは、Windows XPでハードディスクからリカバリーを実行する方法を説明しています。
Windows XPで付属のディスクからリカバリーする場合は、付属のダウングレードキットに同梱の手順書をご覧ください。
また、Windows 7でリカバリーをおこなう場合は、付属のダウングレードキットに同梱の手順書をご覧ください。

復旧方法について

ハードディスク内にあるリカバリー領域を使用してリカバリーします。

・短時間でリカバリーできる
・リカバリーディスク・緊急復旧CDが不要
・ハードディスクの起動部分が壊れている場合はリカバリーを実行できない

ハードディスクを使って復旧する

■ 通常の方法で復旧する

購入時の状態にリカバリーする方法です。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデーターが消えます。消えたデーターは復旧できないので、あらかじめデーターのバックアップを作成しましょう。

1 本機の電源がOFFであることを確認したあと、ディスプレイ、パソコンの順に電源をONにします。

"SOTEC"ロゴの入った画面が表示されます。

2 "SOTEC"ロゴが入った画面が表示されている間に、F8キーを押します。

【オペレーティングシステムの選択】画面が表示されます。

・Windowsが起動してしまった場合、再度上記手順をおこなってください。
・F8キーを数回押すと、【Windows拡張オプションメニュー】画面が表示される場合があります。その場合は、「↓」キーを押して、[OSの選択メニューへ戻る]を選択し、Enterキーを押してください。【オペレーティングシステムの選択】画面へ戻ります。
・"SOTEC"ロゴの入った画面は、表示時間が短いのでご注意ください。タイミングは"SOTEC"ロゴが消える直前ですが、押すタイミングが合わない場合は、"SOTEC"ロゴが表示されている間、F8キーを数回押してみてください。

BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3 ↓キーを押して［Harddisk Recovery］を選択して、Enter↵キーを押します。

【ハードディスクの復元について】画面が表示されます。

4 Yキーを押します。

【復元方法の選択】画面が表示されます。

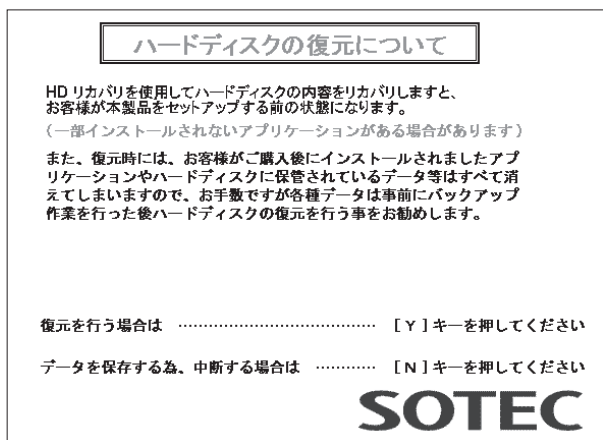
ハードディスクの復元について

HD リカバリを使用してハードディスクの内容をリカバリしますと、
お客様が本製品をセットアップする前の状態になります。
（一部インストールされないアプリケーションがある場合があります）

また、復元時には、お客様がご購入後にインストールされましたアプリケーションやハードディスクに保管されているデータ等はすべて消えてしまいますので、お手数ですが各種データは事前にバックアップ作業を行った後ハードディスクの復元を行う事をお勧めします。

復元を行う場合は ………………………… ［Y］キーを押してください

データを保存する為、中断する場合は ………… ［N］キーを押してください

SOTEC

・リカバリーを中止する場合はNキーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

5 1キーを押します。

【復元の開始（一般）】画面が表示されます。

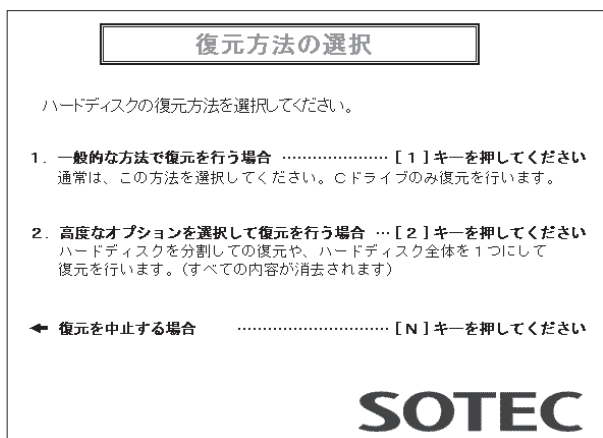
復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1．一般的な方法で復元を行う場合 ………………… ［1］キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Cドライブのみ復元を行います。

2．高度なオプションを選択して復元を行う場合 …［2］キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を1つにして
復元を行います。（すべての内容が消去されます）

← 復元を中止する場合 ………………………… ［N］キーを押してください

SOTEC

・リカバリーを中止する場合はNキーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

6 Ctrl＋Sキーを押します。

リカバリーが始まります。

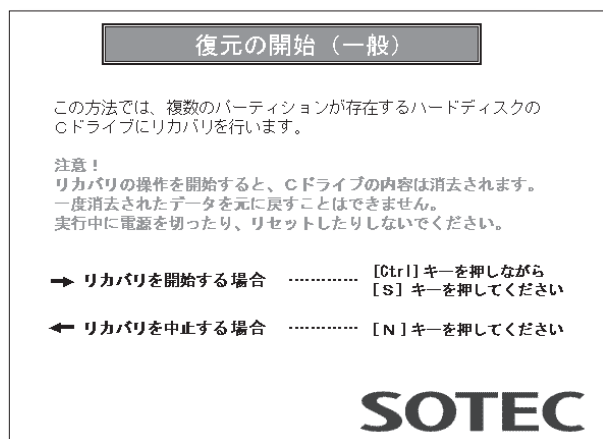
復元の開始（一般）

この方法では、複数のパーティションが存在するハードディスクの
Cドライブにリカバリを行います。

注意！
リカバリの操作を開始すると、Cドライブの内容は消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリを開始する場合 ………… ［Ctrl］キーを押しながら［S］キーを押してください

← リカバリを中止する場合 ………… ［N］キーを押してください

SOTEC

・リカバリーを中止する場合はNキーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

ハードディスクの復元は無事終了致しました。

[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押してください。

7 Ctrl＋Alt＋Deleteキーを押します。

パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windows XPのセットアップが始まります。「Windows XPのセットアップについて」（☞1ページ）を参照して、セットアップを完了させてください。

■ 高度な方法で復旧する

購入時と異なるハードディスクのドライブ構成で、リカバリーする方法を説明します。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はハードディスクのデーターがすべて消えます。消えたデーターは復旧できないので、あらかじめデーターのバックアップを作成しましょう。

1 5〜6ページの手順1〜4までを実行します。

【復元方法の選択】画面が表示されます。

2 [2]キーを押します。

【復元方法の選択（2）】画面が表示されます。

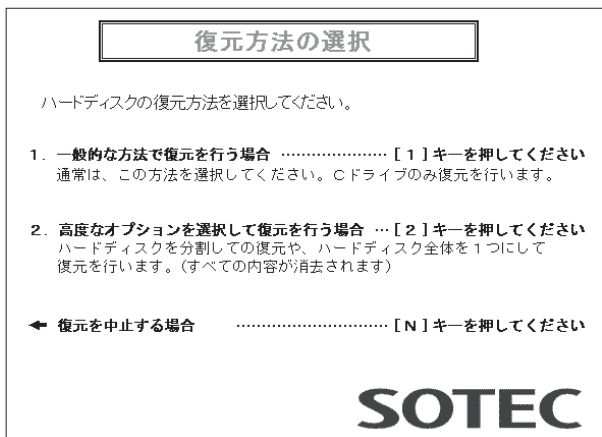
復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1．一般的な方法で復元を行う場合 ………………… [1] キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Cドライブのみ復元を行います。

2．高度なオプションを選択して復元を行う場合 … [2] キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を１つにして
復元を行います。（すべての内容が消去されます）

← 復元を中止する場合 ………………………… [N] キーを押してください

SOTEC

・リカバリーを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

3 復元のオプションを選択します。

復元方法の選択（2）

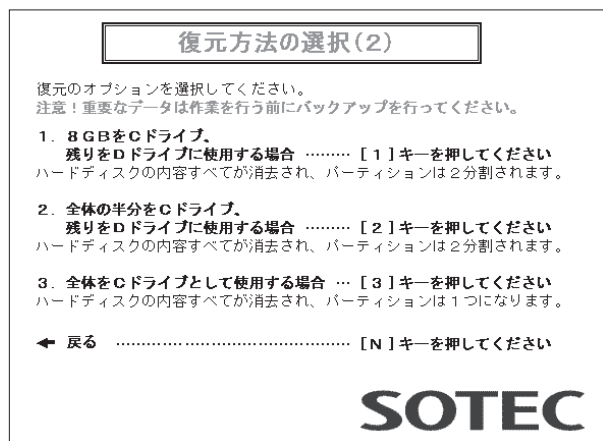
復元のオプションを選択してください。
注意！重要なデータは作業を行う前にバックアップを行ってください。

1．８ＧＢをＣドライブ、
残りをＤドライブに使用する場合 ……… [1] キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは２分割されます。

2．全体の半分をＣドライブ、
残りをＤドライブに使用する場合 ……… [2] キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは２分割されます。

3．全体をＣドライブとして使用する場合 … [3] キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは１つになります。

← 戻る ………………………………………… [N] キーを押してください

SOTEC

8GBをCドライブ、残りをDドライブで構成する場合：
[1]キーを押します。

機種により、Cドライブの容量は「8GB」と「15GB」のものがあります。

CドライブとDドライブを同じ容量で構成する場合：
[2]キーを押します。

Cドライブだけで構成する場合：
[3]キーを押します。

・前のメニューに戻る場合は、[N]キーを押します。

4 6ページの手順6〜7を実行します。

付属のダウングレードキットからリカバリーを実行する

「ハードディスクからリカバリーを実行する」（☞5ページ）以外の方法でリカバリーをおこなうには、付属のダウングレードキットを使います。

Windows XPの場合

付属のダウングレードキットに同梱のWindows XP用ディスク（3枚）を使用して、リカバリーをおこなってください。
リカバリーの方法は、付属のダウングレードキットに同梱の手順書をご覧ください。

Windows 7 Professionalの場合

付属のダウングレードキットに同梱のWindows 7 Professional用ディスク（3枚）を使用して、リカバリーをおこなってください。
リカバリーの方法は、付属のダウングレードキットに同梱の手順書をご覧ください。

付属のユーザーズガイド❶に「Windows 7修復用CD」が同梱される記載がある場合がありますが、このWindows XPダウングレードモデル製品には、同梱されておりません。